

プレス発表資料（公開のお知らせ）

平成 26年 6月 19日

独立行政法人防災科学技術研究所
九州大学地震火山観測研究センター
島原半島ジオパーク協議会事務局

「島原半島の地下を見てみよう ボーリングコア公開と火山実験講座」を実施

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）、九州大学地震火山観測研究センターおよび島原半島ジオパーク協議会事務局は共同で、平成26年7月20日（日）長崎県島原市の国土交通省雲仙復興事務所において、国立公園「雲仙」指定80周年および島原半島ジオパーク認定5周年記念イベントの一環として、雲仙岳火山観測施設設置の際のボーリング掘削工事で得られたボーリングコア試料を公開します。

あわせて地域社会に対し雲仙岳の火山活動及び火山防災への理解を深めることを目的に火山実験講座を開催します。

企画主体：独立行政法人防災科学技術研究所、九州大学地震火山観測研究センター
島原半島ジオパーク協議会事務局

協力：国土交通省九州地方整備局雲仙復興事務所

1. 日時：平成 26 年 7 月 20 日（日）10 時 00 分受付開始（～16 時 00 分受付締切）
（雨天時実施・荒天時は中止する場合あり）
2. 場所：国土交通省九州地方整備局 雲仙復興事務所の駐車場・旧資料館
〒855-0866 長崎県島原市南下川尻町 7 番地 4
3. 内容：別紙資料による。
4. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会
島原市記者クラブ、長崎県記者クラブ

取材を希望される場合は、お手数ですが、別添の「ご回答用紙」にて防災科学技術研究所アウトリーチ・国際研究推進センターへ7月11日（金）までにFAXでお申し込み下さい。なお、事前のご質問に関しては、所属・氏名、質問内容、回答先（E-mailアドレス、FAX番号）等を明記の上、下記連絡先にFAX下さい。

【公開担当研究者】

独立行政法人防災科学技術研究所
地震・火山防災研究ユニット
火山プロジェクトディレクター 棚田 俊收
同 特別研究員 長井 雅史

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ 大石・三好
電話 029-863-7784
FAX 029-851-1622

「島原半島の地下を見よう ボーリングコア公開と火山実験講座」のご案内

1. はじめに

防災科学技術研究所は全国各地の活動的な火山を対象に、気象庁や各地の大学観測所と連携して基盤的火山観測網（V-net）の整備を進めており、火山の地下におけるマグマの蓄積・移動から噴火・終息に至るまでの火山活動に関わる一連の評価・災害予測技術の開発研究を進めています。

島原半島の雲仙岳では、3ヶ所で火山観測施設の設置をすすめています(図1)。各火山観測施設には火山性地震や地殻変動をリアルタイムでとらえるためにネットワーク接続された広帯域地震計、地震傾斜計、GPS測位地殻変動観測装置等が設置される予定です(図2)。このうち地震傾斜計は観測ノイズを低減するため深度約200mの観測井戸内に設置されます。

この観測井戸掘削の際に取得されるボーリングコア岩石試料(図3)は観測装置周辺の地盤の状態の確認や火山活動履歴の解明に利用されますが、普段見ることのできない地下の岩石を通じて島原半島地域の大地の生い立ちや雲仙岳の火山防災について考え理解する一助にもなることから、島原半島ジオパーク協議会事務局、九州大学付属地震火山観測研究センターと共同で、公開を行う運びとなりました。

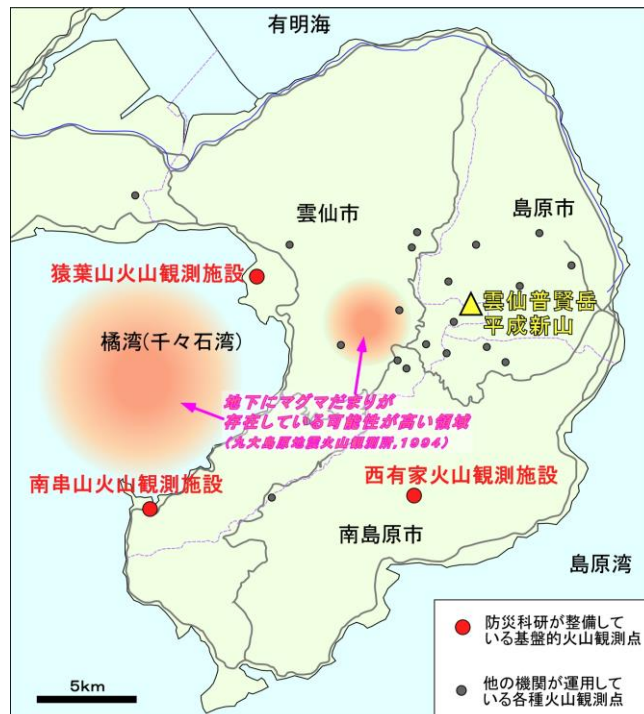


図1 防災科研雲仙岳火山観測施設の設置場所

島原半島西部に観測施設を新設することにより、観測網を強化し地下のマグマだまりの変化をいちはやくとらえます。

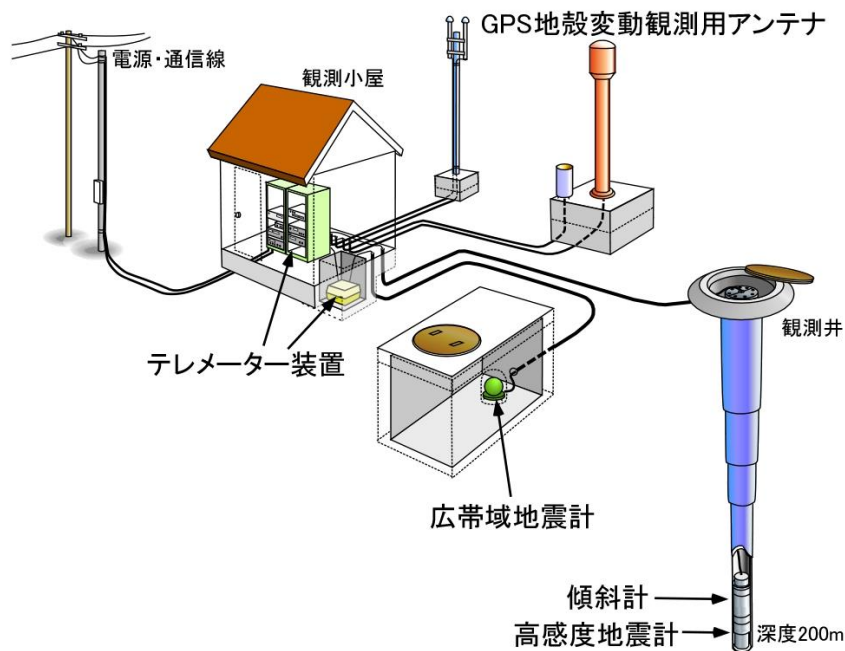


図2 火山観測施設の模式図

火山観測施設は、地中部（地震計と傾斜計）及び地上部（広帯域地震計、GPS観測機器、観測小屋（観測データを送信するためのテレメータ装置等）等を配置します。

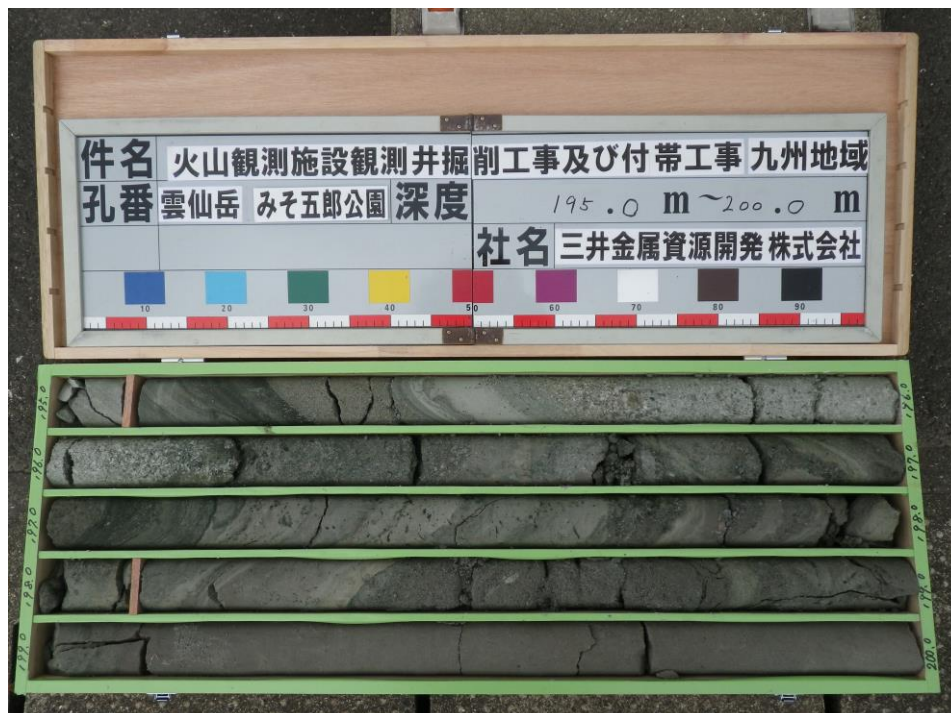


図3 展示ボーリングコア試料の例
(西有家火山観測施設の観測井深度 195m~200m で採取)

2. 公開概要

会場：国土交通省九州地方整備局 雲仙復興事務所の駐車場・旧資料館(下記図4)
長崎県島原市南下川尻町7番地4

お越しになる際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

会場内に飲食施設はございません。周辺の飲食店を利用するか、持参されるようお願いいたします。

3. 公開内容

(1) ボーリングコア試料展示

猿葉山(雲仙市千々石町乙)、西有家(南島原市西有家町長野)、南串山(雲仙市南串山町丙)の各観測点観測井で取得された連続コア試料を一堂に展示します。島原半島を作る地層の重なりや岩石の特徴を把握できます(事前登録の必要なし・試料採集は不可。雨天時は旧資料館内で一部を展示。)

(2) 火山講座「火山の観測とデータのよみ方 明日からあなたも火山学者？」

防災科学技術研究所は日本全国の16火山に観測施設を整備しています。そこで得られた観測データとその解釈をご紹介します。中学生～一般向け。定員30名：事前登録の必要なし。開演時刻までに旧資料館内講演会場にお越しください。

(3) 火山実験「体験してみよう火山噴火のしくみと火山観測」

火山噴火の仕組みや火山観測について、身近な材料をつかって模擬実験をしてみませんか。児童(保護者同伴)を対象に事前募集します(募集人員20名：空きがあれば当日参加も可)。雨天時は旧資料館内で実施。

4. 公開スケジュール(予定)

平成26年7月20日(日)

雨天時は旧資料館建物内のみで実施。荒天時は中止する場合がございます。

中止時は島原半島ジオパーク協議会ホームページ

(<http://www.unzen-geopark.jp/event>)等でお知らせします。

時間	内容
10時00分	来場受付開始・ボーリングコア試料公開開始
13時30分～14時00分	火山講座「火山の観測とデータのよみ方 明日からあなたも火山学者？」
14時30分～16時00分	火山実験 「体験してみよう火山噴火のしくみと火山観測」
16時00分	来場受付締切
16時30分	ボーリングコア試料公開終了

5. 火山実験参加申し込み・その他問い合わせ先

島原半島ジオパーク事務局

電子メール連絡先 info@unzen-geopark.jp

FAX連絡先 0957-65-5542

火山実験の参加申し込みは6月20日午前10時受付開始(先着20名)。電子メールまたはFAXにて受付します。電子メールの場合は件名に「コア火山実験参加申込」、本文に「参加者の氏名・学年・住所・連絡電話番号」を、FAXの場合は上部に「コア火山実験申し込み」、その下に「参加者の氏名・学年・住所・連絡番号」それぞれ明記してください。

6. 報道関係の方へ（取材上の留意事項）

- ・見学及び取材にあたっては、現場の係員の指示に必ず従って下さい。安全には細心の注意を払っていますが、主催者側に明らかに瑕疵があった場合を除き見学者・報道関係者の怪我、機材破損等の責任は負いかねますのでご了承下さい。
- ・日程の都合上、予定が変更される場合があります。
- ・報道関係者用の待機部屋はございません。
- ・ボーリングコア試料や観測データの見解は現時点での予察的なものであり、今後精査に伴い変更されることがあります。

7. 会場について

国土交通省九州地方整備局 雲仙復興事務所の駐車場・旧資料館(図4)
長崎県島原市南下川尻町7番地4



図4 会場案内図

取材用

独立行政法人 防災科学技術研究所
アウトリーチグループ 大石・三好 行き

(FAX : 029-851-1622)

(MAIL : outreach@bosai.go.jp)

ご 回 答 用 紙

お手数ながら7月11日(金)までにご回答お願い申し上げます

件名 : 島原半島の地下を見てみよう ボーリングコア公開と火山実験講座

1. 御社名 :

2. 御所属 :

3. ふりがな 御名前 :

4. 人 数 :

5. 御連絡先 : (TEL)

(FAX)

(e-mail)

6. その他 :

コア火山実験参加申込書

島原半島ジオパーク事務局 行き

(FAX : 0957-65-5542)

(MAIL : info@unzen-geopark.jp)

申 込 用 紙

6月20日（金）午前10時 申込開始（先着20名）

1. ^{ふりがな}御名前：

2. 学 年：

3. 住 所：

4. 電話番号：
